

医療的ケア児等の災害への備え vol.1

～地域のつながり・医療・食事を中心に～



発行日：令和5年9月1日

発行：静岡市医療的ケア児等支援協議会

医療的ケア児等の災害への備え



1. はじめに

我が国の過去の災害を振り返ると、障がい児者の死亡率は健常者と比べて高いことがわかります。また、障がい児者、医療的ケア児者の生活は健常者以上に電気・ガス・水道などのライフラインに依存しているため、避難生活は困難を極めます。一人でも多くの障がい児者、医療的ケア児者が生き残るために、そして困難な避難生活が少しでも耐えられるようになるために、改めて防災についてみんなで考えて向き合しましょう。 静岡県立こども病院 総合診療科 科長、総合診療センター長 山内 豊浩

2. 平時の備え

～地域のつながり編～



1. 地域とのつながりが最も重要

自治体の避難行動要支援者名簿に登録し、近所の人や民生委員とつながっておき、いざというときに助けてもらえるようにしましょう。発災直後に一番困ることが多いため、屋内外の安全な場所への移動や、電源、水源確保で困った時、近隣の方に思い切ってSOSを出しましょう。

2. 仲間と情報を共有することが安心につながる

家族や身近な支援者と連絡がとれないことや正確な情報が入らないことが最も不安になります。もしもの時に備えて、災害時伝言ダイヤル(171)が使えるようにしておきましょう。

また、学校、放課後等デイサービス事業所、生活介護事業所、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、相談支援専門員、PTA や親の会などと事前につながり、連絡が取り合えるようにしておくことで、孤立しないようにしておきましょう。

さらに、最新情報が得られるよう、テレビ・ラジオ・パソコン・スマホ等で地域の防災情報^{※1}を入手するようにし、仲間や支援者と SNS やメーリングリスト等で連絡を取り合うのもよいでしょう。被害状況や支援についての正確な最新情報を共有し、お互い励まし合うことで安心感が高まります。

※1 P3の4. お役立ち HP「静岡県 防災ポータル 静岡県公式ホームページ」をご覧ください。

3. 避難場所と非難経路の確認

誰と、どこに、どのタイミングで、どういう移動手段をつかって避難するのか、前もって相談しておき、支援者と共に個別避難計画を立てておきましょう。

避難場所の例：自宅、避難所、車内、親戚知人宅、隣近所、通園通学先

～医療編～



1. 非常用電源と酸素の確保

停電時に機器外部バッテリーの利用や、自家発電装置・蓄電池・自動車のバッテリー等の代替えが使用できるか、アンビューバックでの人工呼吸が行えるか、あらかじめ訓練しておきましょう。

人工呼吸器取扱業者や在宅酸素取扱業者の緊急連絡先を把握しておきましょう。連絡に必要なモバイルバッテリーの備蓄も忘れないようにしましょう。

2. 薬や医療材料の備蓄

おおよそ 1 週間分の薬や医療材料を備蓄し、健康保険被保険者証、障害福祉サービス受給者証、お薬手帳と一緒にすぐに持ち出せるようにしておきましょう。必要とする支援の内容や 1 日の生活の流れをサポートファイル等^{※2}にまとめておくといでしょう。

本人が受けている医療情報をあらかじめ「医療的ケア児等医療情報共有システム (MEIS)^{※3}」にデータ登録しておく、緊急事態にはかかりつけ以外の医療機関でも必要な医療が受けることができます。

※2 P3の4. お役立ち HP「しずおかサポートファイル」をご覧ください。

※3 医療的ケアが必要な児童等が救急時や、予想外の災害、事故に遭遇した際に、全国の医師・医療機関（特に救急医）が迅速に必要な患者情報を共有できるようにするためのシステム ▶<https://www.cfa.go.jp/policies/shougajishien/meis/>

▼HP



～食事編～

日用品・食料・飲料水の備蓄



家族の分も含めておおよそ 1 週間分備蓄しておきましょう。

栄養剤注入（ラコール、エネーボ等）の場合は、残りを冷蔵保存できず 1 回ずつ使い切らなければならないため、多めに備蓄しておく必要があります。

経口摂取の場合は、避難所で配布される防災食は食べにくい、本人が食べられる市販介護食を複数種類用意しておきましょう。そのまま開けてすぐ食べられるタイプが使いやすいでしょう。慣れない食事を受け付けない方もいるため、あらかじめ練習で食べさせてみることもおすすめです。

～以下のような物品も役立ちます～

○体温調節がしにくい方

…アイスノン、クーラーボックス、携帯扇風機、カイロ、毛布、携帯用エアマット

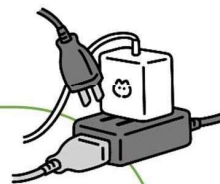
○医療機器を洗浄する水や手洗いの水を節約する場合

…手指消毒用アルコール、ウエットティッシュ、口腔ケアウエットシート、ストロー付きボトル、ラップ、紙皿、紙コップ、割りばし

○夜間医的ケアが必要な場合…ヘッドランプ型ライト

社会福祉法人 小羊学園 つばさ静岡 医師 浅野 一恵

3. コラム



～まず自助、地域住民・支援者・相談員と仲間の共助、そして、公助です～

静岡市重症心身障害児(者)を守る会会長

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会会長 牧野 善浴



みなさまの住んでいる地域の危険性(ハザード)を把握することが備えへの第一歩です。ハザードマップ(各区地域総務課や市 HP にあります)で確認し、十分にリスクを把握したうえで、居住地を選びましょう。

医療的ケア児等のニーズは個別性が高く、災害時のニーズも支援も十人十色。避難所には医療機器や酸素、ケア用品や処置を行うのに適した環境はほとんどなく、公助に多くを求めても限界があります。自宅避難を前提に災害対策を考えましょう。まず、必要なケア用品の在庫をあらかじめ自分で確保しておくこと。災害時、停電となる可能性が高いので電源の確保も重要です。しかし、電気で動く医療機器(人工呼吸器・吸引器等)は精密機械のため、メーカーは通常の発電機の使用では正常稼働を保証していません。電力会社と同じ正弦波の電流を確保することが不可欠。外部バッテリーを複数準備することもおすすめ(※参考)。電気自動車の活用も一案です。

Aさんに必須な支援でもBさんには不要の場合があり、保護者は自助でどこまでできるか本気で考えないといけません。避難については、個別避難計画があると災害時の避難行動が円滑に行えるので、身近にいる支援者に相談しながら作成しましょう。

令和4年9月の台風15号の時、清水区の広範囲では断水で生活に困ったご家族が大勢いました。臨時の給水所はできましたが、取りに行けない人は困っていました。個別ニーズに合った支援は直ぐには届きません。実際には医療的ケア児等の「困った、助けて」の声をキャッチした支援者や同じ立場の仲間が、医療的ケア用品を自宅まで届けた例がありました。すぐに頼れる人は近所の人であり、支援者、相談員、仲間との支援や連携体制を整えておくことが大切です。

※医療機器が必要な子どものための災害対策マニュアル～電源確保を中心に～2019

4. お役立ち HP



静岡県 防災ポータル 静岡県公式ホームページ

https://d10000000hwakeaw.my.salesforce-sites.com/portal/sns_vf_Portal

災害時の小児に対する支援において参考となる資料集 公共社団法人 日本小児科学会

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=202

しずおかサポートファイル 静岡県公式ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shogaifukushi/kyoseishakai/1003013/index.html>

▼HP



災害時に備えて準備しておくもの(1週間分)

年1回チェック
しましょう!



	品目	備蓄数	メモ
人工呼吸器・酸素関連	呼吸器回路一式		
	アンビューバッグ		
	予備気管カニューレ		
	Y字ガーゼ		
	延長チューブ		
	酸素ボンベ、ボンベカート		
	人工鼻		
	加温加湿器		
	モニター		
吸引	吸引器(手動・足踏み)		
	吸引チューブ		
経管栄養・胃瘻関係	経管栄養剤		
	注入用ボトル		
	栄養チューブ		
	胃ろうチューブ		
	延長チューブ		
医療材料等	シリンジ		
	滅菌精製水		
	蒸留水		
	ガーゼ		
	アルコール綿		
非常用電源	固定用テープ		
	外部バッテリー		
	延長コード		
	シガーソケット対応インバーター		
	発電機		
	蓄電池		
	UPS(無停電電源装置)		



~メモ~

